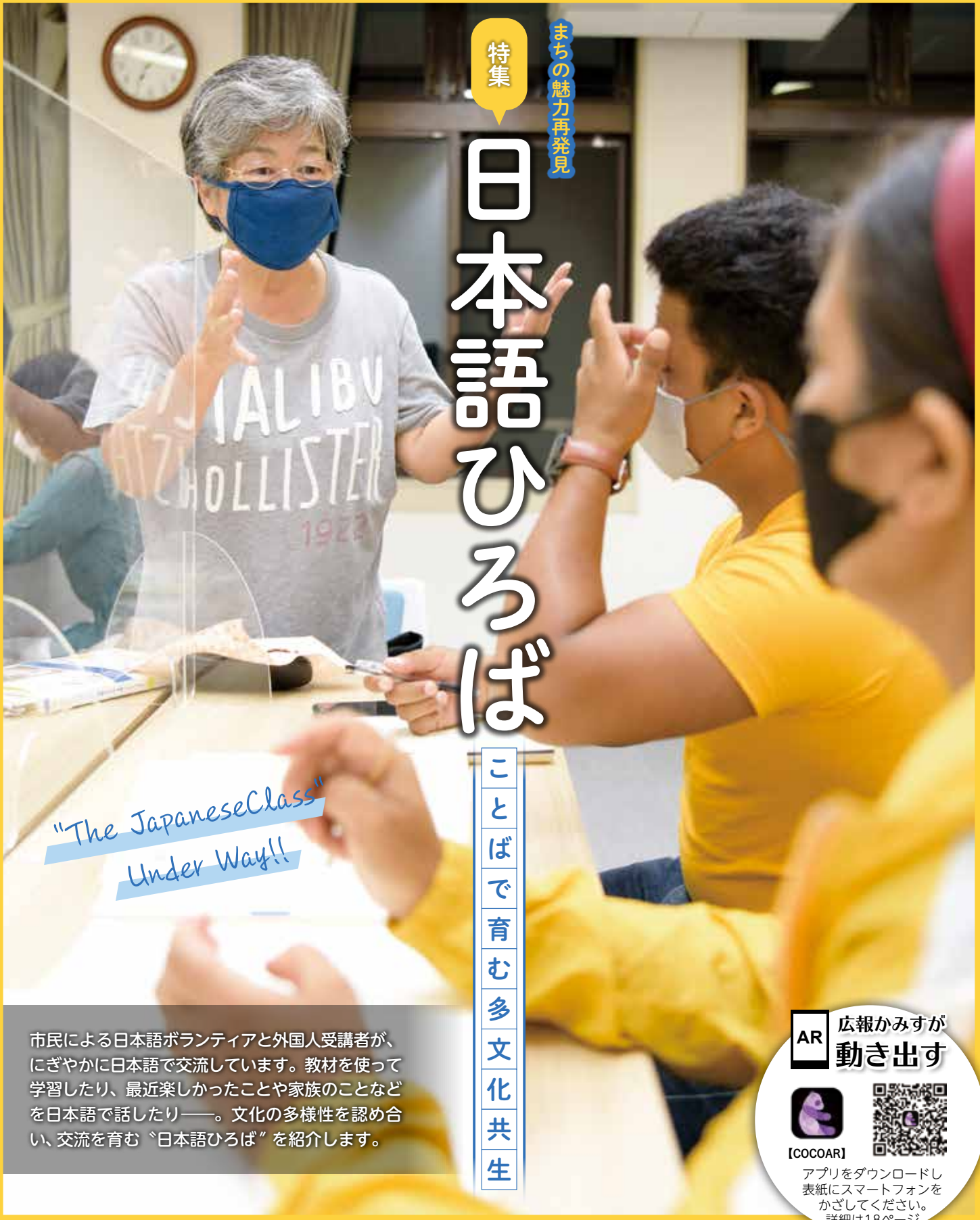
広報
かみす
2022年
No.378
10/1

Pick up
▶新型コロナワクチン接種
▶秋の集団検診



特集
まちの魅力再発見
日本語ひろば
ことばで育む多文化共生

"The JapaneseClass" Under Way!!

市民による日本語ボランティアと外国人受講者が、にぎやかに日本語で交流しています。教材を使って学習したり、最近楽しかったことや家族のことなどを日本語で話したり――。文化の多様性を認め合い、交流を育む〝日本語ひろば〟を紹介します。

AR 広報かみすが動き出す
【COCOAR】
アプリをダウンロードし表紙にスマートフォンをかざしてください。
詳細は18ページ

まちの魅力再発見

特集

日本語ひろば

ことばで育む多文化共生

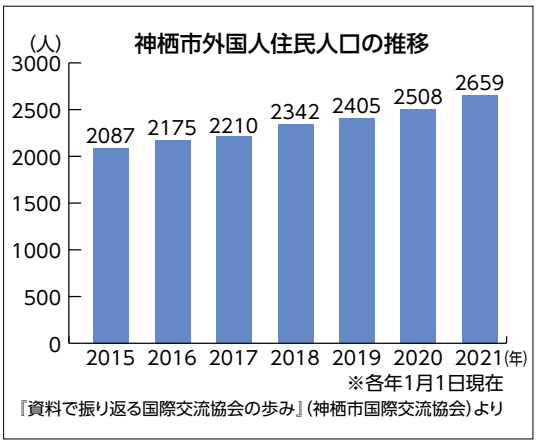
たくさんの外国人が暮らす神栖市。市内4カ所で開催されている「日本語ひろば」では、市民が日本語ボランティアとして活躍しています。互いに理解を深め、より良い関係を築くための取り組みを紹介します。

日本人も外国人も同じ地域の一員

日本にはたくさんの外国人が暮らしており、神栖市内でも会社や学校、お店、公園などで外国人に会うのは珍しいことではなくなりました。市内に住む外国人は2659人(令和3年1月末現在)。国籍でみると中国、フィリピン、タイ、ベトナムの方が多くなっています。在留資格は、永住者、技能実習、定住者、日本人と結婚した人、技術・人文知識・国際業務に就いている人など多岐にわたります。

来日したばかりで言葉や習慣の違いに戸惑っている人もいれば、すっかり神栖の生活になじんでいる人もいます。そうした中、日本人も外国人も同じ地域の一員として安心して暮らすことのできる〝多文化共生〟のまちづくりが求められています。

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こう



『資料で振り返る国際交流協会の歩み』(神栖市国際交流協会)より

としながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」（総務省）です。

多文化共生の実現のために

ところで、身近に外国人がいても「話したことがない」「交流するきっかけがない」という人も多いのでは？　もし「声をかけたいけれど、何語で話しかければいいか分からない」というときは、簡単な日本語で大丈夫です。日本人と話したいと思っている外国人はたくさんいます。

市内ではこれまで、神栖市国際交流協会（ＫＩＦＡ）が長年にわたって「外国人のための日本語教室」を実施してきました。今年度から市が積極的に関わる体制を整え、「日本語ひろば」として再スタート。引き続き神栖市国際交流協会の皆さんが日本語ボランティアを務めており、重要な担い手であることに変わりはありません。日本語ひろばは市内４カ所・計６クラスがあり、日本語ボランティアが計20人、受講者は計53人います。今後は日本語を教えるだけでなく、多文化共生の拠点としていくことを目指し、神栖市国際交流協会と市が協力し合って運営していきます。

①

②

③

④

①パソコンを使ってクイズ形式で楽しく日本語を学ぶ　②日本語のレベルや国籍（母語）によってグループ分け　③発音を伝えるためにスマートフォンの音声アプリを活用　④神栖市国際交流協会情報誌「きぃ～ふぁ」。漢字が読めない外国人のために、ふりがなを付けて情報を発信してきた

世間話も大切なトレーニング

日本語ひろばを訪ねてみました。受講者の皆さんが、「初めまして、私の名前は○○です。よろしくお願いします」と折り目正しくあいさつをしてくれます。思わず「日本語が上手ですね」と言うと、「まだまだです」と照れながら笑顔を見せてくれました。

この日は、日本語ボランティアが３人と、受講者が６人。日本語のレベルや国籍（母語）によって担当が割り振られ、中国人とタイ人の受講者はそれぞれ日本語ボランティアと１対１での授業、ネパール人４人は同じグループでの授業です。「今週、楽しかったことは何？」「家族はみんな元気？」など、なごやかな世間話から始まり、やがて教材を使った学習へと進みます。

日本語ひろばでインタビュー！

みなさんに、日本語ひろばのことや神栖市の好きなところ、がんばっていることなどを聞きました。

湊さえ子さん(左)
「トウ君は18歳。家でも毎日、日本語をたくさん勉強しています。とても優秀です」

董冠鋒(トウカンホウ)さん(中国出身)
「湊先生はとても親切です。日本語はおもしろいです。日本の大学で科学を学びたいので、もっと勉強をがんばります」

吉﨑一代さん(右)
「ナンちゃんは日本人と結婚して日本に来ました。保育園に通う子どもがいます」

鈴木 ナンタワンさん(タイ出身)
「日本語は難しくて、漢字を覚えるのが大変です。神栖が大好きです。総合公園に、家族で行きます」

南成子さん(中央)
「4人ともN4(日本語能力試験)に合格してから日本に来ました。日本語が上手です」

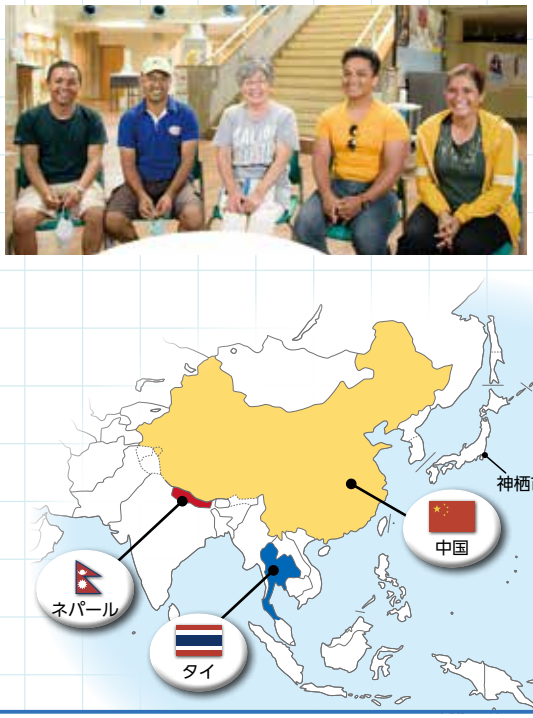
(向かって右から順に)

アチャリヤ・ラクシュミさん(ネパール出身)
「農業を学ぶため日本に来ました。ネパールで、日本の技術を役立てたいです」

ディーヤリ・ビーケー・ミランさん(ネパール出身)
「日本語ひろばはとても楽しいです。外国人の友達もできます」

レグミ・ユバ・ラズさん(ネパール出身)
「神栖の海が好きです。ネパールでは海を見たことがありません でした」

タクリ・ダマル・シングさん(ネパール出身)
「南先生は、難しいことを、簡単に分かりやすく教えてくれます」



重要な役割を担う日本語ボランティア

受講者の皆さんは質問に楽しげに答えてくれて、ゲームの話、料理の話、100円ショップの話など、身近な話題で盛り上がりました。こちらの質問が通じないときに、日本語ボランティアが分かりやすい日本語で言い直すと、会話がスムーズに進むのが印象的でした。

日本語ボランティアに興味がわき、皆さんがいつ、どういうきっかけで活動し始めたのか聞いてみました。南さんは26年前、旧波崎町国際交流協会の設立の際、知人の勧めで活動をスタート。その南さんに誘われて、6年前に活動し始めたのが湊さんです。親友のお子さんが留学先でたくさんのカナダ人にお世話になった話を聞き、日本もそういう社会になればいいなと思ったのがきっかけとのこと。吉﨑さんは、去年活動を始めたばかり。外国人が遠い日本に来て働いている姿を見て、少しでも力になりたいと思ったと言います。

教え方を工夫し、自分らしさを発揮して

次に、日本語を教えるための工夫、やりがい、受講者への思いなどを聞いてみました。

南さんは、20年以上続けていても、同じことの繰り返しではないと話してくれました。「教えているうちに、日本語は特殊な言語だと実感するようになりました。受講者が何を求めているかを見極めて、どうすればそれに応えて意思疎通ができるかを考え、工夫しています。例えば、ゼロからのスタートなら絵カードを使い、より高いレベルを目指す方には文法で説明します。とはいえ、先生と生徒というのではなく、寺子屋で一緒に学ぶ仲間のような間柄です。皆さんが日本になじんで、ちょっとでも生活しやすくなればと願っています」

受講者に寄り添って教え方や教材を工夫する

吉﨑さんは〝みんなで楽しく〟がモットーです。「大切なのは継続すること。そのモチベーションを維持する手段の一つとして、楽しく何でも話せる場となるように常に心がけています。皆さんが一生懸命に学ぶ姿や、少しずつ会話が上達していく姿を見て、私の方が元気をもらっています。せっかく日本に来たのだから、なるべく日本文化に触れて、視野を広げてほしいですね」

国を超えてつながる喜び

湊さんは自分の体験を踏まえ、日本語ボランティアに興味のある人に頼もしいメッセージを寄せてくれました。

「私は神栖市国際交流協会の日本語講師養成講座を受講しましたが、自分が人に教えるなんて考えられず、実際に活動し始めたのは何年もたってからです。いざ始めてみると、受講者の日本語レベルがまちまちで大変な面もありますが、それ以上にやりがいがあります。中には、母国に帰国した後も連絡をくれる方がいて、そのつながりが大きな喜びとなっています。日本語ボランティアは、難しく考えなくて大丈夫。日本に住んで日本語を話している方ならきっとできます。ぜひ多くの皆さんと一緒に活動したいと思っています」

神栖市では来年1月、初級日本語ボランティア養成講座を開催します。茨城県国際交流協会から派遣される日本語教育アドバイザーを講師に、1月と2月の週末に全6回開催する予定です。少しでも興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。皆さんの身近なところで、たくさんの外国人と友達になれるチャンスが広がります。

言葉で育む多文化共生

初級日本語ボランティア養成講座（茨城県国際交流協会共催）

問政策企画課☎0299-90-1120

開催日時＝2023年1月8日(日)・15日(日)・21日(土)・2月12日(日)・19日(日)・26日(日)の全6回　各回午前9時30分～午後3時30分　**費用**＝無料

開催場所＝神栖市役所　分庁舎2階　会議室2(大会議室)

講師＝日本語教育アドバイザー　羽鳥愛氏（茨城県国際交流協会から派遣）

日本語ひろば受講者募集

問政策企画課　TEL 0299-90-1120

日本語を話したい人を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

対象＝市内在住・在勤・在学の18歳以上で、日本語を母語としていない人

場所	日時
うずもコミュニティセンター	日曜日　午前10時～11時30分
若松公民館	火曜日　午後7時～8時30分 水曜日　午後7時～8時30分
はさき生涯学習センター	日曜日　午前10時～11時30分
大野原コミュニティセンター	火曜日　午後1時30分～3時 午後7時15分～8時45分